

Topics 街を、私を、地球を冷やす 広げたい、緑のカーテン



「我が家がリゾート計画」から学校も…子どもたちとの緑のカーテン作りが始まりました。(提供: 菊本るり子先生/板橋区立高島第五小学校)

二〇〇八年二月発行

第十三号

大好き

みどり

やっぱり

「緑のカーテン」ってどうして涼しいの？

暑い日に木陰に入るとひんやり涼しく感じます。それは木の葉が直射日光を遮ってくれることでもあります。木の幹や葉に含まれている水が葉から蒸発して水蒸気になるときに、周りの熱を奪うからなのです。これは「蒸散作用」と呼ばれ、植物自身が夏の暑さの中で生き残るためにしていることなのです。

植物は地面の中から水分を吸収し、葉から蒸散することで、涼しい空気を作り続けます。天然のエアコンでなおかつ地球にもやさしい！ということで、つる状に伸びる植物を使って建物の窓を覆う「緑のカーテン」作りが静かなブームになっています。板橋区では地域や学校に呼びかけて緑のカーテン作りを進めていますし、「緑のカーテン応援団」というNPOが地域で大活躍しています。



↑ヘチマは生長がとても早く学校での「緑のカーテン」作りにはぴったり。(板橋区立高島第五小学校)



↑緑のカーテンで採れたゴーヤを使った学校給食(提供: 大田区立馬込東中学校)

↑同じ育てるなら、涼しいだけでなくおいしい、欲張りカーテンはいかが？色々試してみるのも楽しいかも。

どんな植物が向いているの？

基本的にはつる性の植物であればなんでもOKですが、育てる場所や条件に応じて種類を選ぶとよいようです。今回お話を伺った板橋区立高島第五小学校の菊本るり子先生は「学校の壁面で育てるにはヘチマが◎です。生長が早いし丈夫です」と教えてくださいました。(写真もたくさん提供いただきました)区内で取り組んでいる馬込東中学校ではゴーヤやヒョウタンを育てています。

自宅で作る際には、自分の楽しみも兼ねているいろいろなつる性植物にチャレンジするのも楽しいかもしれませんね。冬は光を取り入れたいですから、冬には葉の落ちる落葉性の植物や一年草がよいですね。

今年の夏は「緑のカーテン」にチャレンジしてみよう！

毎年どんどん暑くなる夏、エアコンに頼りっきりでなく、自分にも地球にもやさしい「緑のカーテン」を作ってみませんか？私たちは緑のカーテン応援団のサポートをいただきながら、地域で広めていきたいと考えています。「とっくにやってるよ！」という方は、培った知恵をお分けいただけると嬉しいです。

学校でも、子どもたちがみどりや土に触れる機会を通して自然の仕組みを学び、温度測定などの実験を通して緑化がヒートアイランド防止につながることを学ぶ教材として、緑のカーテン作りを取り入れるところが増えているようです。地域からも積極的にお手伝いしたいものですね。(牧野ふみよ)



↑土に触れる機会の少なくなった生徒たちには貴重な体験です。(大田区立馬込東中学校)



緑を育てることを通して、水、土、緑のつながりを自然に、心と体で学びます。(板橋区立高島第五小学校)↑



ちよつと、考えてみよう

「環境教育」って難しいこと?

私たちは、設立当初より学校から依頼を受け、総合学習の時間に子どもたちが花を育てる活動のお手伝いをしています。その学年の年間を通じてのテーマが「環境」となっており、地域環境を向上させることから地球環境への思いを育むことが目的です。このほかにも、小学校のプールで孵ったヤゴ(トンボの幼虫)をプール清掃の直前に網ですくって救出してトンボにかえす活動、児童館の周りがある公園に鳥の巣箱をかけ、秋に営巣されたかどうかを観察して中の掃除をし、また次のシーズンに向けて取り付ける活動なども続けています。虫や鳥など、都会の中で息づく小さな命を守る活動です。一見、花やみどりとは直接的に関係のない活動のように見えますが、植物はすべてのいのちの拠り所であり、つながっています。こうして、さまざまな学びの場面を、子どもたちと一緒に私たち自身も学びながら続けています。

「環境」というと「地球環境」を思い浮かべがちですが、もっと身近な、身の回りの「地域環境」を大切にしたい気持ちを持って行動することが、その先にある地球環境への働きかけへの第一歩だと私たちは考えています。自分たちの身の回りに息づく命への気づきが芽生え、自分の命と同じように、身の回りのすべての命を大切に考えることを感じ取る、そこから自分たちの暮らしへの愛着も生まれるのだと考えています。

都会で暮らすからこそ、自然のカケラを見つけて集めて紡ぎ直す、そんな感性を育てるためのきっかけ作りを、今後も続けていきたいと考えています。



↑ 挿し木や種まきで増やした苗をペットボトルに植えて地域に飾っています



↑ 6月の風物詩になったヤゴ採り。子どもたちとヤゴを採るのを楽しみにしている会員もいます



↑ 「土で絵を描く」自分たちで集めた土を使って絵を描きます。土の語りに耳を傾けながら(提供:板橋区立高島第五小学校)

E 加減 de エコライフ

今回は鳥の巣箱のお話。
身近な鳥たちの住宅難に
ちよつとだけお手伝い。



◆**巣箱の歴史**…巣箱は最初、ヒナを取って食べることを目的として利用されたのだそう。近代になり、野鳥の保護を目的とした巣箱の利用が始まり、1907年にはドイツのベルレプシュ男爵が160haもの庭に3,000個の巣箱をかけたといわれています。ある年、ドイツでハマキムシという害虫が大発生し、国中の果樹園が大きな被害を受けた時、男爵の庭の果樹園では親鳥がヒナのえさとしてハマキムシを運んだために、被害が少なかったとか。このことから巣箱は農業の助けにもなるものとして広まったのです。

◆**シジュウカラの子育て**…公園の樹木などに巣箱をかけた場合、多く利用するのはシジュウカラという鳥で、子育てシーズンは春。気に入った巣箱を見つけると、巣箱の周辺から、コケや草、犬やネコなどの動物の毛など、色んなものを集めて巣を作ります。親鳥は一羽のヒナに1日13匹ほどの幼虫を与えるそうです。1回当たり8~10個の卵を産んで孵化させますから1日100回以上巣箱に幼虫を運ぶことになり、かなり忙しいです。右の写真は、反対に巣箱から何かを持ち出す瞬間…ヒナたちの糞を外に捨てに行くのです。孵ったヒナは20日ほどで巣立ちます。そんな瞬間を見てみたいものですね。(牧野ふみよ)



探検! 発見! 耳寄りみどり



田園調布せせらぎ公園

東急多摩川線・目黒線・東横線「多摩川」駅下車0分。それとは気付かずに公園の外周を歩く人も多く、「まさかこんな所に公園が…」ところが中に入るとマイナスイオンや酸素がいっぱいで別天地に入り込んだ気分になります。平成14年8月から暫定開放していた当公園も、今年(20年)4月から大田区の都市公園として正式開園します。今までどおり、夜間は閉門(時間は月により異なる)になりますが、新たな設備としては、駐車場ができ、駐輪場と共にアプローチが便利になります。公園には、現在2ヶ所に湧水が見られ、崖線の浸み出しもいたる所に見られます。また、園内の約3分の1を占める斜面林は四季折々の風情を楽しませてくれます。多目的広場や草っぱら広場では、子供も大人もワンちゃんも存分に明るい自然が楽しめます。お弁当持参でゆっくりお昼寝に…なんていうのはいかがでしょうか。(谷文枝)

【所在地】

田園調布一丁目53番10号
「多摩川」駅改札を出てすぐ左

毎月第一日曜の「花とみどりのつどい」では山野草の育成に取り組んでいます→



四季の庭から



春はやっぱり、庭のハイライト！地道な努力が実る瞬間です

3月

温暖化が問題になっているこの頃、なぜか今冬は厳しい寒さが続きました。それでも春の足音は確実に近づき、梅の便りも聞かれ木々の芽も膨らみ、間もなく一年で一番華やかな季節を迎えます。

◎彼岸過ぎから種まきの適期を迎えます。昔から春は遅め、秋は早めに播くべし、と言われていました。焦らず十分に気温が上がってから(目安は八重桜が咲く頃)まくのがコツ。

◎芽だし球根(チューリップ、ムスカリ等)は、芽が出ていれば早めに定植。

◎パンジー、ビオラ等は、引き続き花ガラ摘み、追肥を施します。

4月

◎ビオラ、パンジー、アリッサム、ノースポールなど冬から咲き続けてきた草花は満開となり、ワスレナグサ、ネモフィラなどの春の花もいっせいに咲きそろう華やかな季節。温度も十分に上がり、種まきの適期です。

★夏～秋用1・2年草

サルビア、マリーゴールド、ニチニチソウ、インパチェンス等
発芽後本葉2～4枚でポットなどに移植し、花芽が出たら定植

※ポイント…発芽が始まったら早めに光に当てて徒長を防ぐ

水の遣りすぎに注意！種袋の説明は良く読むこと

昔から「苗半作」といわれます。ガッシリした苗作りを！

◎病害虫対策…予防と早期発見がポイント、薬剤散布は風の無い早朝に行ないます。

殺虫剤：オルトラン粒剤、スミチオン乳剤、マラソン乳剤等

殺菌剤：サプロール乳剤、ダコニール、ベンレート等



↑サルビア、マリーゴールドなど、夏花壇の定番花の種まきの季節

ニチニチソウと、日陰の花代表のインパチェンス↓



↑存在感のある花姿のジギタリス

5月

◎バラも満開となり、庭は一年のハイライトを迎えます。

◎頑張ってくれたパンジー達もそろそろ終わり、夏花壇に衣替えです。

★サルビア、マリーゴールド等に植え替え

◎挿し木・挿し芽の適期です。

◎珍しい種類の種を採り、種まき育苗も楽しいものです。

昨秋種をまいたジギタリスも、20cmほどになりました。園芸作業も俄然忙しくなります。花を訪ねたり、花壇を見たりして、庭造りの参考にしたいものです。(川口 良夫)

春 爛漫！花とみどりの

イベント案内

🌿 2008 日本フラワー&ガーデンショウ 3月27日(金)～30日(日) 10:00～17:00

会場 幕張メッセ国際展示場 5・6 ホール

毎年春真っ先に開催される花とみどりのイベント。園芸・種苗メーカーが多数出展します。

🌿 第9回 10カ国大使夫人のガーデニング 5月2日(金)～6日(火)

会場 ホテルオークラ東京 本館1階「平安の間」

ホテルの宴会場でガーデニングイベント。ガーデニングで世界めぐりができる不思議空間です。

🌿 第10回 国際バラとガーデニングショウ 5月14日(水)～19日(月) 9:30～17:30

会場 西武ドーム

NHKでも毎年継ぎされ、人手の多いイベントです。ガーデンコンテストはもちろんお買い物も楽しみ！

🌿 アースデー東京 2008 4月19日(土)、20日(日)

会場 代々木公園、渋谷

「地球のことを考えて行動する日」4月22日のアースデーにちなんだ環境を考えるイベントです。

春に向けて 活動予定



昨年環境フォーラムは大ホールでの開催でした



昨年の園場オープンのようす

◆3/2(日)花とみどりのつどい(田園調布せせらぎ公園)13:00~15:00

「早春の山野草 あれこれ」講師:鈴木良昭氏

◆3/8(土)環境フォーラム 2008「よりどりみどり de まちづくり」(会場:アブリコ地下展示室)

緑のカーテン
トライアルキット
をプレゼント!

13:00~展示見学、受付開始 13:30 開会(~16:30)

「学校安全緑地」「緑のカーテン」についての講演・トークセッションを行います。また、多くのみどりのまちづくり活動紹介のパネル等を展示しています

◆4/5(土)「緑のカーテンづくり講習会」(会場:社会福祉センター 4階会議室)

時間:10:00~12:00 講師:ミツロ拓也氏(NPO緑のカーテン応援団)

今年の夏を涼しく過ごすために、種をまいて育て方も学びます

◆4/6(日)花とみどりのつどい(田園調布せせらぎ公園)13:00~15:00

「これだけは知っておきたい桜の話」講師:新宅泰博氏

◆4/11(金)南久が原園場オープナー 10:00~12:00 雨天の場合は翌日に順延

4/13(日)大森南園場オープナー 10:00~12:00 雨天決行

花の苗育てを一緒にいかがですか?どなたでも参加できます

◆5/4(日)花とみどりのつどい(田園調布せせらぎ公園)13:00~15:00

「植物の宝庫 高尾山へ」講師:日比野佳正氏



About us...わたしたちについて...

大田・花とみどりのまちづくりの活動マップ

田園調布せせらぎ公園

・「花とみどりのつどい」を毎月第一日曜 13時~15時開催。花やみどりが大好きな人たちの交流の場となっています。

区民プラザ前プランター

・管理活動:毎週木曜9時~四季折々、きれいな花を楽しめるように心がけています。

南久が原園場

・管理活動:毎月第2・4金曜 10時~12時
・地域に植えるための花苗を育てる活動もしています。

大森駅前花壇

・管理活動:毎週火曜日
冬季:10時~(夏季:9時~)
・駅前だけでなく、バス通りや商店街にも花壇があります。

平和の森公園

・「街山プロジェクト」として、年間を通じて様々な活動をしています。観察会や勉強会も随時行っています。

大森南園場

・管理活動:毎週水・金曜日 9:00~16:00
・保育園児のお散歩コースや地域の方たちの学びの場にもなっています。



お問合せは気軽に
03-3734-7932 まで

六郷土手花壇

・管理活動:毎月最終日曜日 10時~12時
・近隣町会の皆さんにもご協力をいただいています。

区役所本庁舎前プランター

・管理活動:蒲田駅前花壇の管理作業の後に実施
・区の玄関なので、常にきれいに、張り切っています。

蒲田駅前花壇

・管理活動:毎週火曜日9時~
・駅前だけでなく、西口、東口のバス通りの花壇も管理しています。

会員募集中!

大田区内のあらゆるところで活動しています。花やみどりに直接触れる活動はもちろん、みどりの活動を縁の下でサポートする事務作業や、運搬のための車の運転など、さまざまな活動があります。**特に運転手を大募集中!!**あなたもぜひ、参加してみませんか?体験入会も歓迎です。お問合せは右記事務局まで。⇒⇒入会案内と最新の会員だよりをお届けします。

編集後記

今、立っている地面のこと、土のこと、目に入る木の名前、雑草と呼んでいる草の名前、そんなことを知ることも環境に繋がると思えます。地球の環境を考えることは、身近な、目の前の環境を見つめることから始まります。一緒に考えてみませんか。

発行:NPO法人 大田・花とみどりのまちづくり

〒144-0051 大田区西蒲田 7-24-7-203

tel & fax : 03-3734-7932

E-mail : npoogc@yahoo.co.jp